

第 28 回茅野市新地域公共交通検討会議

開催日時	令和 6 年 1 月 15 日 (月) 午後 6 時 30 分から午後 7 時 10 分		
開催場所	茅野市役所 8 階大ホール		
公開・非公開の別	公開・非公開	傍聴者の数	2 人
議題及び会議結果			
発言者	協議内容・発言内容 (概要)		
事務局	<p>第 28 回茅野市新地域公共交通検討会議を開催。詳細は下記のとおりです。</p> <p>1 開会</p> <p>みなさまこんばんは。一日のお疲れのところ、お集まりいただきありがとうございます。</p> <p>定刻となりましたので、只今から、第 28 回茅野市新地域公共交通検討会議を開催いたします。</p> <p>はじめに、会長挨拶、篠原会長お願いします。</p>		
会長	<p>2 会長あいさつ</p> <p>新年あけましておめでとうございます。元旦の能登半島の地震が起きました。翌日には羽田空港の火災が発生いたしました。被災地の皆様にはお悔やみを申し上げます。災害というものはず発生いたします。この寒い時期での避難生活はストレスが非常に溜まると思います。明日への希望が持てるような生活に向けた取り組みも必要になってくると思います。今後、災害後のケアについて配慮していくことが重要であると思います。もし茅野市が災害にあったときにそのような思いをさせてはいけないので新しいシステム作りや準備が必要だと思います。もっと念入りに作り変える時期だと思います。今回の公共交通会議についても利用される方が心の底からありがたいなと言っていたけるようなものにしたと思います。よろしく願いいたします。</p> <p>年当初でありますので市長さんにはご挨拶をお願いいたします。</p>		
市長	<p>皆様明けましておめでとうございます。本年もよろしく願いいいたします。今年の三が日はいつもとは違う三が日になってしまいました。大きな災害の様子を見ていると、被災された皆様にはお見舞いを申し上げますと共にお悔やみを申し上げます。そうした中で地域のコミュニティは非常に大事になってきています。中でも公共交通というものは非常に重要であると思います。人口減少という問題もあり、区の担い手不足等の問題もございます。そうした時代の中で今までと同じ仕組みではなく、新しい仕組みというものが重要になってきていると思います。そうしたことから、新しい公共交通というものが重要になってきています。茅野市の公共交通については、まだまだこれで大丈夫というのではなく、改良点もあると考えています。確実に一歩ずつ進めて来ている状況であると思います。新しい時代の新しい公共交通の在り方については、どの自治体も模索中で非常に難しい作業ではありますが、みんなでやっという体制は非常に誇っていいのではないかと思います。当該検討会議にご参加いただいている皆様には、それぞれの立場でご意見をいただきながらよりよい形を見つけていければと思います。我々は少し先を</p>		

	<p>見据えながら新しいものを作り上げていければと思います。皆様方には今年も1年またご協力をいただきますが、それぞれの立場でよりよい意見の集約をお願いしたいと思います。今年一年間の皆様方の活動がより良く良い形になっていければと願っております。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>ここで委員の交代がございましたので、ご紹介をさせていただきます。湖東地区の地区会長小平孝一様、中大塩地区区長会長大作公明様、でございます。よろしく願いいたします。また、本日はViaMobilityJapanの加藤代表もお越しいただいておりますので、ここで紹介させていただきます。なお、協議事項に関連しまして、原村の公共交通担当職員の方にもご参加いただいております。</p> <p>それでは、3の協議事項に入ります。項目としては、 (1) 穴山・原村線について…資料1 それでは、篠原会長、議事進行、よろしく願いいたします。</p>
<p>会長</p>	<p>3 協議事項等 それでは協議事項に入ります。 (1) それでは、(1) 穴山・原村線について、事務局から説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>穴山・原村線について、資料1に基づき説明。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。ただいま説明いたしました、それでは、穴山・原村線について、ご質問、ご意見がございましたら挙手にて、ご発言をお願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>資料P6の運賃と比較して、茅野市の通勤通学バスの運賃が少し高いと思いますがどうでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>確かに茅野の通勤通学バスは最大250円となっています。今回見直しをするにあたり、茅野駅を中心に円を描いてみたところ、だいたい同じくらいのラインで200円となっていますので、今回の改定が、茅野の通勤通学バスの料金との乖離はないと考えています。</p>
<p>委員</p>	<p>そうしますと要望ですが、茅野市のように最大200円の運賃にした方がいいと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>利用率が低いバスを見直したということですが、利用率が少ない理由は検討分析したのでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>今回の見直しについて、原村の職員の方が実際にバスに乗り込んで聞き取り調査をしました。そうした中で、利用料金や電車へのアクセスがよくないという意見をいただいたため、今回の見直しになっています。</p>
<p>委員</p>	<p>従来の路線はなぜその時刻になっていたのでしょうか。そこをきちんと分析しないと改正してもまた乗っていただけなくなると思います。何</p>

事務局	<p>で利用されていなかったのかということを中心に分析して便数を減らすなり、ダイヤを変更するなりしないと益々乗らなくなると思います。</p> <p>運行便数自体は減らしていませんので、利便性は上がっているのかなと考えています。そもそも市内の路線バスについては、廃止をしていますので、のらぎあを利用していただければと思います。原村についても2月から、のらぎあ運行を開始する中で住民の方にとっての利便性は上がっていくと考えています。</p>
委員	<p>料金を下げるといいことだと思いますが、足りない部分については、税金で賄うようになってしまう。そうした時に料金が高く乗れないという人はどのくらいいたのでしょうか。</p>
原村担当者	<p>実際にバスに乗っている方の属性について、原村としては、高校生に乗っていただきたいと考えていました。しかし、実際、高校生は乗っていませんでした。そうした時に利用状況から見ると原村から茅野駅まで往復で1300円程度かかるということが乗っていただけない理由と考えています。そこで値段を下げることは需要があると考えています。</p> <p>原村には駅がないので、高校に通うためには茅野駅かすずらんの里になるため、ご家庭で送っているという状況ですので、料金を下げること子育て支援の一環として明確な数字はありませんが、状況から判断してこのような改正を行いたいと考えました。</p>
委員	<p>ダイヤの関係についてであるが、通学に合わせて7時21分に茅野駅到着だと乗車率が上がると思いますが、8時17分に茅野駅到着だと高校生は授業に間に合わないと思うのでターゲットになっていないと思う。茅野駅出発の帰りの便についても部活動が終わる時間にしてもらった方が利用者は増えると思います。</p>
原村担当者	<p>8時台の便については、実際に我々が乗車する中で学生というニーズではなく一般の方の利用者が多かったので、一般の方をターゲットにしたいと考えています。帰りの時間帯の便については、19時10分があったが、かなり遅い時間であったため、学生が乗らないという状況でした。今回、学生のターゲットについては、テスト期間で早くかえりたい学生や部活がない場合に帰りたいたいと思っている学生をターゲットにしたいと考えています。</p>
委員	<p>夕方は保護者が迎えに行き易いと思いますが、テスト期間であると午前中に授業が終わると思うので、そうした場合に4時台では少し遅いと思います。確かに原村線であれば2時台もあるので問題なさそうですが、逆に4時45分の電車で帰ってくる学生が多いので4時台の時刻は検討した方がいいと思います。</p>
原村担当者	<p>4時台の時間ですと、中央病院に特定地点を設けているので、中央病院から原村に帰っていただきたいと思います。バスに縛られないそうしたハブ機能も活用いただきながら対応できたらと考えています。</p>

事務局	茅野市についても同じなのですが、のらぎあで通常の通学通勤バスにない時間帯の移動についてはのらぎあで対応していただきたいと思ます。
委員	資料 P8 の新となっている時刻表について、中央病院の出発時間が 13 時 21 分になっていると思いますが、他の便の時刻と比べると時刻表が違うのではないのでしょうか。原村からは中央病院まで 14 分ではいけないと思ますので修正していただければと思ます。
事務局	原村から中央病院に到着する時間は便によって変わりませんので資料を修正させていただきます。
会長	他にご意見があればお願いします。
全委員	特になし。
会長	それではご意見について、確認の承認を取りたいと思ます。ご承認いただける方は挙手をお願いいたします。参加者の多数の挙手により承認された。
会長	ご承認いただきありがとうございます。次に、報告事項、(1) A I 乗合オンデマンド交通「のらぎあ」の運行状況等について・資料 2、事務局から説明をお願いします。
事務局	本日は、資料を説明している地域総合計画の担当者が欠席になりますので、別紙資料 2 に基づき公共交通担当者から説明。
会長	ただいま説明いたしました、(1) A I 乗合オンデマンド交通「のらぎあ」の運行状況等について、ご質問、ご意見がございましたら挙手にて、ご発言をお願いします。
委員	資料 P6 の相乗率について、相乗率を高めるためのキャンペーンの状況と評価をお願いします。
事務局	キャンペーンは 1 月末まで実施しています。現在、キャンペーンを行う中での成果は出ていない状況です。出発場所を一緒にすることでは相乗率が高まらないということであれば新たな方法を考えていきたいと思ます。評価については、キャンペーン期間が終了してから分析したいと思ます。
委員	要因としてはメリットを示しても相乗率が上がらないということが事実なのか、そういったキャンペーンを行っていることの周知が十分されていないからなのかについては、残り 1 か月を切っている中で、きちんと把握をした上で然るべき手続きを行った方がいいと思ます。
事務局	広報については、のらぎあ車両内にチラシを掲載したり、アプリ内のポップアップや広報紙での掲載や PR を行いあらゆるところで周知はし

	<p>ているのですが、なかなか効果がでていないという状況です。</p>
会長	<p>運行事業者からもご意見をお願いします。</p>
委員	<p>乗合率は感覚的には上がってきていると思いますが、もう少し割引に関する周知が必要かなと思うのと、一度乗車体験した人がメリットを感じてもらえればいいと思います。</p>
委員	<p>資料P8の平均乗車人数は12月の数字を見る中で頭打ちと思うのですが、茅野市としての目標乗車人数はどのように設定されていますか。</p>
事務局	<p>現在の運行形態で、損益分岐点は乗車人数300人と考えています。目標人数として考えているかと言われると難しいのですが、1日300人の運行を目指していきたいと考えています。</p>
委員	<p>重要な事業だと思いますので目標を達成する際にどのようにしてくかが非常に大事かと思います。運行時間を長くする等していただきながら頑張っていたきたいと思います。</p>
会長	<p>皆様にもご意見を出していただければと思います。 他にご意見等あればお願いします。</p>
全員	<p>特になし。</p>
会長	<p>5その他について、事務局からお願いします。</p>
原村担当者	<p>原村では2月から、のらぎあを本格導入することになります。前回の会議に出席した中で、いくつかの課題やご意見もいただいております。茅野・原は共同体として今後、原村の導入の際には茅野市と同じロゴマークを使い、協力協調の第一歩であると思います。引き続きよろしくお願いいいたします。</p>
会長	<p>茅野市と原村は運命共同体になると思います。引き続きよろしくお願いいいたします。 ありがとうございました。それでは、事務局に戻したいと思います。</p>
事務局	<p>閉会として高木副会長ご挨拶をお願いします。</p>
副会長	<p>コロナの感染症が5類に移行して以降非常に人の動きが活発化してきました。移動手段については、我々の生活にとって大切なものでもあり、その質を上げていくということは非常に大事になると思います。誰でも外出できることは非常に重要であると思います。コロナの3年間は外出することができないということで精神的な虚弱化が進み、認知症が進行しました。このままではそうした状況がどんどん進んでしまいます。また、3年間で楽しい思い出がない子ども達が地域に戻って来ようと思うかどうかは、実際に外出した経験を積み、形ある思い出を残していくことが非常に大切であると思います。先ほど会長からも、運命共同体の名</p>

のもとに住んでいきたい、住み続けたいと思ってもらえるような大事なツールとして大切に作り上げていければと思います。

本日はお忙しいところお集まりいただき誠にありがとうございました。

以上